

平成二十八年度入学試験問題（前期日程）

国語

教育学部 学校教育教員養成課程

小学校教育コース 教育実践学専修 を受験する者は、一、二、三について解答しなさい。

小・中学校教科教育コース 国語教育専修 を受験する者は、一、二、四、五について解答しなさい。

注意事項

- 一、解答時間は、100分である。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 四、解答は縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
- 五、教育実践学専修を受験する者には解答用紙の他に下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。

非公開

一

次の文章は、両親が奄美群島の沖永良部島出身で、自身は東京で生まれ育った干刈あがたによる自伝的小説「入江の宴」から抜粋したものである。親の故郷を初めて訪れる大学生ユリを視点人物とし、ユリが母方の叔父の家に着いた日の出来事を描いた場面である。よく読んで、以下の各間に答えなさい。(三〇点)

非公開

非公開

非公開

(千刈あがた)、「入江の宴」、『沖縄文学全集 第9巻 小説IV』、国書刊行会、一九九〇年、四〇—四三ページ、抜粋・一部改変

注
ここでは、中国(現在の中華人民共和国)の中部地方を指している。現在では、こうした名称は使うべきではないが、原文の通りとした。

問一 波線部 a ~ e の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- a 瞳目
b 疎ら
c 律儀
d 縁取られた
e 晒された

問二 ユリが、傍線部①「前庭に花壇を作つてゐる父の顔は、ひと時なごんでいた」ことを思い出したのはなぜか。説明しなさい。

島人の話に出てくる「タビ」という言葉を受け、傍線部②「エリの中で何かが揺れた」のはなぜか。「何か」を明らかにしながら、説明しなさい。

問四 【A】の子守唄について、後の場面では次のように書かれている、【A】のカタカナ表記と【B】の漢字かな交じり表記とを比べたとき、どのように意味や効果が異なるか、説明しなさい。

非公開

問五

老婆の子守唄の響きを聞きながら、ユリの中で揺れていたものがさらに変容していく。この変容を想像し、傍線部③「自分が泣いているのではなく血が泣いているような気がしながら、ユリは泣くことのこゝよさに身をまかせていた」という叙述の意味するところを説明しなさい。

二

次の文章は、長谷川眞理子「ヒトの『はじまり』」の一部分である。よく読んで、以下の各間に答えなさい。(110点)

非公開

非公開

非公開

非公開

(池内了編、『はじまりを探る』、東京大学出版会、二〇一四年、九六～一〇一ページ、抜粋・一部改変)

注 メタ分析——複数のデータや研究を統合したり比較したりして新たな知見を产出する分析方法。

問一 波線部 a～eのことばを漢字で表記しなさい。

a くし
b ぼうだい
c やでい
d ぎょうしゅく
e れんめん

ア 個別的
イ 蓄積的
ウ 根源的
エ 一般的

ア ところが
イ つまり
ウ もちろん
エ さらだ

問五 僕線部②「心的表象の共有がなければ、言語はその威力を發揮できないだろう」とあるが、それはなぜか。説明しなさい。

問六 本文には、「……だろうか?」「……だろう?」のように、疑問文による問い合わせ形式の表現が頻繁に用いられている。本文において、この表現が果たしている効果を説明しなさい。

(三) は、学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教育実践学専修 の選択問題)

三

次の文章は、福井雅英『子ども理解のカンファレンス 育ちを支える現場の臨床教育学』からの抜粋である。暴力・暴言が目に余る児童をめぐって、教職三年目、四年生担任の堀辰矢先生から、著者に宛てて実践記録(後掲「資料」)が送られてきた。著者は、この実践記録について次のように受けとめ、課題をあげている。

非公開

実践記録(後掲【資料】)を丁寧に読み解き、堀先生の葛藤を具体的に説明し、傍線部「①他律的に迫られる形式的解決を追求するよりも、その子が必要とする発達援助はどのようなものかを考え」ということが大切なのはなぜか、あなたの考えを四〇〇字以上、六〇〇字以内で述べなさい。(四〇点)

非公開

【資料】

非公開

(福井雅英、『子ども理解のカンファレンス 育ちを支える現場の臨床教育学』、かもがわ出版、二〇〇九年、一二五～一三三ページ、抜粋・一部改変)

(四)・(五)は、学校教育教員養成課程 小・中学校教科教育コース 国語教育専修 の選択問題)

次の古文は、江戸時代の国学者である本居宣長が、『源氏物語』(平安時代成立)において脇役ながら印象的な登場人物の一人である六条御息所(注)を女主人公に据えて創作した物語『手枕』の一節である。ここでは、大臣家の娘に生まれた六条御息所が、若き日に時の皇太子に嫁した後の出来事が描かれている。よく読んで、以下の各間に答えなさい。(二四点)

非公開

(『本居宣長全集 別巻一』、筑摩書房、一九七六年、五六〇～五六二ページ、抜粋・一部改変)

注 六条御息所が嫁した皇太子の系図的な説明は『源氏物語』には明示されていないが、『手枕』では天皇の同母弟という設定になつてゐる。

問一 傍線部①の「女宮」を指す表現を、傍線部④の和歌から抜き出しなさい。

問二 空欄(A)～(D)に入る形容詞(連体形)の順序として適切なものを、次の選択肢A～Eから選んで、記号で答えなさい。

- | | | | |
|------------|----------|----------|----------|
| ア A=心苦しき | B=はかなき | C=いとどしき | D=はかばかしき |
| イ A=はかなき | B=いとどしき | C=はかばかしき | D=心苦しき |
| ウ A=いとどしき | B=はかばかしき | C=心苦しき | D=はかなき |
| エ A=はかばかしき | B=心苦しき | C=はかなき | D=いとどしき |

問三 傍線部②・⑥を、助動詞の役割に注意しながら、それぞれ現代語訳しなさい。

問四 傍線部③の内容として適切なものを、次の選択肢A～Eから選んで、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| ア 死き人をいつまでも思つていていたいが、恋心には終わりがあるものだから、いつまでも恋慕つてはいられない。 | イ 世の中には死き人がよみがえることもあるけれども、それができる人も限られているから、望みどおりにはならない。 | ウ 死き人の遺骸を運ぶ葬送の列に加わりたいと思つても、身分の制限があるので、後を追つて行くこともできない。 | エ 後を追つて死にたいと思つても、生死は自分の思いどおりにできるものではないから、死ぬこともままならない。 |
|---|---|---|---|

問五 傍線部④の末尾の空欄 に入るべき語を答えなさい。

問六 傍線部⑤「かく頼もしき人々」に当たる語句を本文中より二つ抜き出しなさい。

問七 『源氏物語』をもとに『手枕』が書かれたのと同様の創作方法を用いた事例について、具体的な作者や作品など(時代は問わない)を挙げつつ、述べなさい。

五

次は、具平親王作の「早秋に『秋は簾上より生ず』を賦す」と題する詩である。よく読んで、以下の各間に答えなさい。（一六点）

非公開

（『群書類從・第八輯』「本朝麗藻卷上」、続群書類從完成会、一九三二年、五八八ページ、抜粋・一部改変）

- 注
1 簾——細く割った竹をむしろのように編んだ夏季用の敷物。
2 八尺商風——八尺の長さの簾に吹いてくる秋風。
3 煙竹——露に濡れた竹。

問一 傍線部①・②を、それぞれ平仮名で書き下しなさい。

問二 傍線部③「暑氣」・④「露花」と対比されている語を、詩の中から抜き出して、それぞれ答えなさい。

問三 空欄□に入る最も適切な語はどれか。次の選択肢ア～工から選んで、記号で答えなさい。

ア 韶(ひびく)

イ 激(はげしき)

ウ 清(すずしき)

エ 強(つよき)

問四 傍線部⑤「汝」とは何を指すか。次の選択肢ア～工から選んで、記号で答えなさい。

ア 篾

イ 一身

ウ 暁

エ 炎天

問五 傍線部⑥の内容として最も適切なものを、次の選択肢ア～工から選んで、記号で答えなさい。

ア 秋が深まるごと、月が一段と風情を増してゆくので、夏に見た月の記憶が薄まるように感じられる。

イ 秋が深まるごと、夏の間親しんだものたちの存在は忘れ去られ、月が何よりも慕わしく感じられる。

ウ 秋が深まるごと、涼しさに空気が研ぎ澄まされるせいか、月がなんとなく冷酷なものに感じられる。

エ 秋が深まるごと、一年の残りの月日が少なくなつてくるので、時間の流れがあっけなく感じられる。

	問一	a めいもく b まばら c りちぎ d ふちどられた e さらされた
問二		東京で新築の家を建てるまでがんばった父は、故郷の島を出てからまだ一度も島に帰ったことがない。父方の屋敷跡の石垣を見てはじめて、父が東京の家の前庭に花壇を造るとき、故郷の家を思い出してなごんでいたのだと理解し、父のなごんでいた顔があらためて思い出された。
問三		自分自身は東京で生まれ育ったのに、両親の故郷の島の人々からすれば、「タビの子」にすぎない。帰るべきは島であることを意味する「タビの子」と自分を表現されたとき、いつたい自分自身は、どこに抛つて立つて自分自身の育ちと存在を確かめればよいのか、揺れ＝葛藤が生まれた。
問四		カタカナ表記は、島の言葉がわからないユリに聞こえてきた声（音）としての子守唄である。カタカナ表記により、老婆の声の響きや余韻がいつそう伝わる効果がある。
問五		漢字かな交じり表記は、子守唄にこめられた島の人の暮らしや思いが伝わるように工夫されている。
		ユリは島人から「タビの子」と言われ、自身は島のことを知らないし、馴染みがないのに、帰るべきは島であることをあらかじめ定められていることをめぐって葛藤＝「揺れ」を抱えていた。しかしながら、老婆の子どもへの思いのこもつた子守唄の響きに、自分自身に流れる島人の血が共振し、一気に感動がわき起つてきた。「泣くことのこころよさに身をまかせていた。」のは、その葛藤をもありのままに肯定的に受け入れる視点が生まれていることを意味している。

			問一	a 駆使		
				b 膨大		
				c 査定		
				d 凝縮		
				e 連綿		
問六	ヒトにとつては、自分が見た世界を描写し、他者が同じ心象を持っていることを確認する手段が言語コミュニケーションであり、その手段を有効に活用することで、共通の目的のための共同作業がとれ、その成果がヒトの文化として発展してきたから。	通常、疑問文は不明な事柄を問うための文として表現されるが、本文では、考察の重要な場面において、疑問を発する表現をとりながら論証している内容の整理と確認を行つており、この表現には読み手が文意を適切に捉えられる効果がある。	問四	チンパンジーは隣どうしであつても協力的な行動のできる知能を持たないのに対し、ヒトは自発的に協力的な行動を取る知能を持つているという違い。	問三	ウ
問二	イ	問一	a 駆使			

問一	かたみのこ
問二	イ
問三	<p>② 天皇においてもたいそう惜しいことと思ひ嘆きなさつて、世の中の人も惜しみ申しあげない者はいない。</p> <p>⑥ 自分までもがお見捨て申しあげたならば、どのようにして人並みに成長なさつていこうとするのだろう。</p>
問四	エ
問五	まし
問六	父宮、父大臣
問七	<p>(例) 古典の作品に題材をとつて自分自身の創作に結び付けていった例として、『今昔物語集』の説話をもとに芥川龍之介が書いた『羅生門』や『地獄変』のような小説がある。</p> <p>(例) 平安時代に書かれた『源氏物語』は、現代においても大和和紀による漫画『あさきゆめみし』や、生田斗真が主演した映画『源氏物語 千年の謎』など、多くの派生作品を生み出している。</p>

五

問五	問四	問三	問二	問一
イ	ア	ウ	③ 商風	① いまだおどろくにたらず ② やうやくまさにしやうすべし (ようやくまさにしょうすべし)
			④ 煙竹	